

5月上旬麦巡回調査結果の概要

【東北信】調査日 5月7日、8日

- 1 調査時の生育は、大麦は概ね登熟期、小麦は穂揃期であった。
- 2 巡回調査ほ場では大麦と小麦の黄さび病、うどんこ病の発生は確認されなかった。
- 3 赤さび病については、長野市の小麦で発病がみられ、北信地域では過去6年間の平均値と比べて、発病度及び発病地点率は高かった（図1）。
なお、東信地域では確認されなかった。



図1 コムギ赤さび病（長野市）

【中南信】調査日 5月8日、9日、12日

- 1 調査時の生育は、大麦は概ね登熟期、小麦は概ね開花期であった。
なお、低温による不稔が散見された。
- 2 巡回調査ほ場では、大麦と小麦のさび病類の発生は確認されなかった。
- 3 うどんこ病については、中信地域の大麦で発生がみられ、発病度及び発病地点率は過去6年間の平均値と比べて低かった（図2）。
なお、南信地域の小麦巡回調査ほ場では、下位葉に病斑が確認された。



図2 コムギうどんこ病(松本市)